

第43回北区区政会議 会議録

1 開催日時

令和5年11月14日（火） 午後3時00分から午後4時59分まで

2 開催場所

北区役所 4階 402・403会議室

3 出席者

吉川 郁夫（議長）、吉沢 克規（副議長）、井筒 由裕（委員）、
奥 一朗（委員）、笠井あゆみ（委員）、勝 千晶（委員）、
木下 真弓（委員）、栗原 豊美（委員）、島村 恭平（委員）、
高垣ユキ子（委員）、渡島 清美（委員）、西野 仁（委員）、
二口 勇（委員）
近藤 大（市会議員）、山本 智子（市会議員）、
前田 昌則（区長）、木戸 信成（副区長）、森 正俊（総務課長）、
池西かおり（政策推進課長）、小林 靖子（地域課長）、
中野 義宣（福祉課長）、岩崎 透（健康課長）、
奥中 理恵（政策推進課係長）

4 委員に意見を求めた事項

令和5年度事業進捗状況及び令和6年度計画について

5 議事内容

○奥中政策推進課係長

大変お待たせいたしました。

定刻になりましたので、ただいまから第43回北区区政会議を開会いたします。

本日は、お忙しい中ご出席賜り、誠にありがとうございます。

北区役所政策推進課の奥中です。よろしくお願いいたします。

まず、はじめに、開会に当たりまして区長の前田からご挨拶申し上げます。

○前田区長

北区長の前田でございます。本日は、ご多忙のところ、区政会議にご出席賜り誠にありがとうございます。

本日から新しい期が始まりまして、約半分の委員の方が交代し、また新しい観点で色々な区政のアドバイスをいただければと思っています。

10月中旬ぐらいまで猛暑日が続いておりましたが、瞬間的に冬になりまして、秋が2週間ぐらいしかなかったと思います。学校もインフルエンザ等、また流行っております。餅つき大会が12月から始まりますので、それに向けて体調を万全にしていだいて、まちの賑わいを、北区民の皆さんが本当に笑顔で過ごせるまちを、皆さんが本当に原動力として回していただいているのをよく存じ上げていますので、健康第一で年末を乗り切っていただきますようお願い申し上げます。本日はどうもありがとうございます。

○奥中政策推進課係長

では、本日ご出席いただいております委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

お手元にお配りしております「北区区政会議委員名簿」の順にお名前を読み上げさせていただきます。

井筒委員でございます。

○井筒委員

体協の井筒です。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

続きまして、奥委員でございます。

○奥委員

北天満の奥です。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

続きまして、笠井委員でございます。

○笠井委員

中津地域の笠井です。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

続きまして、勝委員でございます。

○勝委員

青指の勝です。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

続きまして、木下委員でございます。

○木下委員

大淀東地域の木下です。どうぞよろしくお願いします。

○奥中政策推進課係長

栗原委員でございます。

○栗原委員

滝川地域の栗原です。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

島村委員でございます。

○島村委員

豊崎東地域の島村です。よろしくお願いします。

○奥中政策推進課係長

高垣委員でございます。

○高垣委員

北天満の高垣です。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

渡島委員でございます。

○渡島委員

豊仁地域の渡島でございます。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

西野委員でございます。

○西野委員

菅北の西野です。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

二口委員でございます。

○二口委員

本庄の二口でございます。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

吉川委員でございます。

○吉川委員

済美地域の吉川でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

吉沢委員でございます。

○吉沢委員

最後でございますが、北区社会福祉協議会からの推挙でございます。曾根崎地域の社会福祉協議会会長の吉沢でございます。よろしくお願いします。

○奥中政策推進課係長

ありがとうございました。

続きまして、本日ご出席いただいております北区選出市会議員のご紹介をさせていただきます。

近藤市会議員でございます。

○近藤議員

遅れて失礼しました。近藤でございます。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

山本市会議員でございます。

○山本議員

山本でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

ありがとうございました。

なお、高山市会議員、前田市会議員、久谷府議会議員につきましては、本日公務のため、ご欠席でございます。

次に、北区役所の職員を紹介させていただきます。

改めまして、区長の前田でございます。

○前田区長

前田です。今日はどうぞよろしくお願いします。

○奥中政策推進課係長

副区長の木戸でございます。

○木戸副区長

副区長の木戸でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

総務課長の森でございます。

○森総務課長

総務課長の森でございます。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

政策推進課長の池西でございます。

○池西施策推進課長

施策推進課長の池西でございます。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

地域課長の小林でございます。

○小林地域課長

地域課長の小林です。どうぞよろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

福祉課長の中野でございます。

○中野福祉課長

福祉課長の中野です。よろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

健康課長の岩崎でございます。

○岩崎健康課長

健康課長の岩崎です。どうぞよろしくお願いいたします。

○奥中政策推進課係長

なお、宮腰戸籍登録課長、宮本保険年金課長、高下生活支援課長につきましては、自席待機とさせていただきますので、ご了承ください。

それでは次に、「区政会議の運営の基本となる事項に関する条例」第7条第1項に基づき、「区政会議の委員は、その互選により議長及び副議長を選任するものとする。」と規定されておりますので、この会議を主宰する議長、副議長を選任していただきたいと思いますが、この会議の前に開催いたしました委員連絡会におきまして、委員の皆様の意見がおまとまりでしたので、その内容を申し上げ、確認させていただきます。

申し上げます。「議長及び副議長の選任につきましては、委員の互選により、議長

は吉川委員、副議長は吉沢委員に選任する。」ということで、よろしいでしょうか。
ありがとうございます。

では、議長は吉川委員、副議長は吉沢委員が、委員の互選により選任されましたので、吉川委員、吉沢委員は議長席、副議長席にご移動いただきますようお願いいたします。

なお、本日の議事につきましては、委員定数13名のうち13名が出席されており、議長を含む委員定数の2分の1以上の委員が出席されておりますので、有効に成立いたします。

それでは、議長、副議長から一言ずつご挨拶いただき、議事のほうを進めさせていただきますと思います。よろしくお願いいたします。

○吉川議長

ただいま議長に選任されました吉川でございます。

皆様のご協力により、会議を円滑に進めてまいりたいと存じます。皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

○吉沢副議長

ただいま副議長に選任されました吉沢でございます。

初めての区政会議の委員ということで、不慣れでございますけれども、また先輩諸氏が多数おられる中で僭越ではございますけれども、吉川議長を何とか助けて、2年間、役目をしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○吉川議長

それでは、早速でございますが議事に入りたいと思います。

次第に沿って議事を進めてまいりたいと存じます。

まず初めに、議題の令和5年度事業進捗状況及び令和6年度計画について、資料のご説明をお願いいたします。

○前田区長

それでは、議長のお許しを得まして、ただいまから令和5年度の事業進捗と来年度の計画についてご説明申し上げます。

今から私がガイダンス的にお話を申し上げまして、皆さんに配付したテーマの中から、あとは、メインは皆さんからのいろんな意見とかがこの会議のメインになりますので、後ほどの意見交換がこの会議のメインと思ってください。

それと、ご紹介を忘れましたけれども、近藤議員のほうから遅れましたという話がありましたが、実は今、府会、市会とも本会議中でございまして、委員会を終えて、今来ていただいたということです。ほかの先生方については、今まさしく委員会ということで、そういうことで失礼します。

それでは、順次進めてまいります。

北区将来ビジョンというのがテーマにございます。これは私が着任した初年度に定めたものなんですけれども、私が勝手に決めたものではございません。これは北区に昔からある地域福祉計画というのがありまして、それが各地域にあるんです。各地域のビジョンを決めておられるので、その各地域のビジョンの中、一番言葉の数の多いものを、人が集うとか支え合うとか、絆というファクターが多いものですから、それを造語としてつくって、北区の皆さんの大半はこういう方向で、この北区を持っていきたいんだという気持ちを込めてこのビジョンをつくっております。

私、着任し4年経ちますが、改めて思うのは、ここは、都市鉱山です。普通都市鉱山というのは、最近、鉱山を掘ってもなかなかレアメタルって採掘できないので、町の中のパソコンとかそういう電子機器にいろんなそういうレアメタルが入っているから都市鉱山という言葉が使われるんですけれども、北区の都市鉱山というのはそうじ

やなくて、ここに1万5,000社の企業がいます。専門的な文化施設が10カ所ほどある。専門学校に至っては47校、これは日本一の集積です。この次に走るのが中央区の24校、東京の新宿区で20校ないんです。東京の新宿区と北区のスケールが違うので、そのすさまじさは分かっていただける。やっぱり、それがこのまちの資源です。都会ですが、案外自然豊富で三方を川に囲まれているんです。というのは皆さんよくよくお分かりで、だからこういう資源をうまく活用できるのがこのまちの強みかなと思っています。

2040年問題というのがあり、市長のいろんな市政運営の中にも盛り込んでいるんですけど、2040年問題というのは、今から17年後です。皆さん、今の年に17足していただいたら。人口が一番多い世代が90歳を迎えます。その子どもたち、団塊の世代の子どもたちが65歳になります。従って、人口の3分の1は高齢者ということの時代を迎えます。労働人口減ります。今、少子化ということで、17年後ですから今の保育園にいる子たちが社会に飛び立つ時期ですよ。ここ、すごい人数少ないんですよ。ということは労働人口1割減ります。区役所から約30名、人がいなくなります。そういう時代です、スケールでいけばね。そういう時代がまさしくやってくる。これから少子化対策は進んでいくんだろうけれども、2040年はもう今ある命で賄うということです。

だから、DXを進めていかないといけない。皆さんにも、いろいろご不安とご心配とご迷惑をおかけしましたマイナンバーカードもその一つで、区役所に来て住民票を申請している場合じゃなくなったというのは、こういうことが背景にございます。

一方で、それだけ高齢者が増えるということは、介護とか福祉という部分の割合がより高まるということはもう明らかですね。それをどう対応していくか。だから、大阪市の方針として、中には官民連携で、いわゆる官だけじゃなくて、民間の力をどれだけ活用できるかということが一つの主軸になるということは明らか、そういう意味で、ここは一番それが潤沢にあるということです。町会は、担い手が不足しています。

もうもう皆さんご存じのとおりです。若い人が入ってこない、若い人が少ないから。マンションがいっぱい建っても、町会加入率がもう停滞というか減っています。

だから、それを乗り越えるための切り札は、企業とか専門学校だと思います。昨日も中津万博やっていますけれども、どれだけ専門学校生がここに入っているかということを見ると、そういうものをいかに活用できるかということは、この区のこれからのメリット、優位性があると思っています。

最近、万博のテーマソングでコブクロさんの「この地球の続きを」という、この地球の続きをということとは、未来の社会ということなんですけれども、いい言葉がこの歌詞の中にありまして、子どもたちが変えていく、この地球の続きを、それはそうですよね。17年したら、子どもたち全部社会人です。だから、これから担っていく子どもたちをいかに教育していくかというのは、皆さん、本当に日々しっかりと中で子ども、子ども、子ども大事やとやっている姿、よく見かけるのは、こういうことなんだろうと。次の世の中を託すということなので、今日はちょっと教育問題の方を少し多めにお話をするということで予定しています。

今から3年前になりますが、着任した翌年に3か年計画を立てて、いろんな項目に対して目標到達ラインを全て決めました。防災とか、防犯とか、目標到達ラインを全て決めました。その具体的な数値目標に対して今各年度の取組を進めておりまして、令和5年度目標も決まっている。防犯でいけば防災訓練1万人を目指すということで、今3,000人なんですけれども、これから防災訓練が盛んに行われますから、見込みとしては何とかクリアできる見込みであるということで、全ての項目は、基本的には達成できる状況の中で今進んでおりますということです。

少し細かく申し上げますと、学校の訓練はもう既に5校で終わって、これから3学期に向けて、2学期、3学期であと4校ほど積みます。なかなか堀川小学校、あれだけ人がおると防災訓練できへんという、いわゆるグラウンドに1,000人の生徒を入れられないという、そういうこともあって、完全な形では全ての学校にいけない。

各地域の避難訓練は、もう既に実施した3地域、これから年度末にかけて予定が7地域の地域がございます。そういうこともあって、昨日、土曜日に開催した夢キタ万博では、1階の広場全部を防災コーナーにしました。そこに少なくとも1万人の方は目に触れておるという状態をつくり出しました。

特にマンション関係が、町会加入も苦戦していますね。マンション関係への防災の情報送り込みがなかなかできていないので、今北区ではマンションの管理会社、マンション155棟、約36,000世帯と連携を結びまして、そこへ定期的に防災情報を発信しております。去年はそこから、マンションと地域、豊崎東地域でしたけれども、合同防災訓練を行ったという経緯もあって、そういうことをどんどん仕掛けていこうかなと思っています。

マンション住民を対象とするために新しい仕掛けもあって、笠井委員がジシン本サポーターとして活躍してくれますが、笠井委員が10人おってもなかなか手が足りないのです、防災クイズみたいな、アプリをつくっていただきました。今はスマホ世代なので、マンションの方が気軽に防災を学べるようなアプリを完成させて、これからそれをマンションに普及させていきたいなと思っています。

防犯の対策は、やっぱり北区は繁華街が多いですから、これから特にたくさん人がターミナルの北区にやってきます。いい人も来れば悪い人も来ると思います。そういう意味で、ここはなかなか皆さんの関心も強いし、手を緩めることもできない。ということで、警察だけに頼らずに、こども110番というのがあります、あれ、もともとこども110番の家というものがあって、ここに逃げてきてくださいねということなんですけれども、北区の場合は逃げていくマンションにオートロックがかかって逃げられませんということが多いので、もう歩いている人、車を運転する人、自転車乗っている人にその役割を託そうと、そういうことを見かけたら、子どもだけでなく、女性もお年寄りも、特にお年よりは認知症で徘徊されている方もいらっしゃるの、そういう方を見かけたら連絡欲しい、警察か区役所に連絡してほしいということ

の活動をこども110番活動という言葉に言い換えて、この黄色いマークをつけて活動いただいている方が既に25,000人おります。28,000人ぐらいであれば人口の2割ぐらいになるので、効果が出てくるかなということでございます。

あと、防犯につきまして、今、防犯カメラを約800台区内に設置をしております。プラスして、これからは関西電力との連携協定を結びました。今、道路に電柱がないところは、昔、電柱の上にあった丸い円柱の変圧器が歩道に降りていまして、四角い箱で囲まれています。その上にサイネージを設置することができることになりましたので、規制緩和でなりまして、関西電力にサイネージと防犯カメラを設置いただきます。取りあえず年内は、これ1,200か所ぐらいあるんですけれども、年内には15か所に設置をする。関西電力さんはここで広告収入を上げていくんですけれども、半分の時間は行政が使っていただきます。警察は非常にこれを頼りにしています。防犯カメラが新たに15台つくことになります。これが広告収入を得られれば、順次、このサイネージプラス防犯カメラを拡大していくということを、今から始めていきたいなと思っています。

梅田は放置自転車がたくさんあります。私は毎月1回、どこかの地域、必ず全ての地域の啓発活動に参加しております。今、北区には約6,000台の駐輪場が設置されています。私が着任した段階で建設局から言われたのは、もう駐輪場をつくる場所がありませんと言われたんですけれども、そこから何とか約700台上積みしました。民間の商業ビルにも頭下げて頼みに行きまして、民間ビルも約300台設置いただいたので、この4年間の中で約1,000台増設をいたしました。

シェアサイクルというものも切り札に使いたいと思ったので、シェアサイクル会社3社と協定を結んで、今、区内には1,500台のレンタルの自転車が整備されているという状態になります。それだけでは足りないので、今、駐輪場の位置を、駐車場って空いているかどうかって皆さんアプリというかソフトで見られますよね。そこへ駐車しに行く、駐輪場のそういう満車・空車が分かるアプリをつくって、それで今見てい

ただくということにしております。これは、民間の駐輪場も賛同いただいたので、今8,500台ぐらいの駐輪場所がリアルタイムで満車・空車が今この場所は空いているのか空いていないのかというのは分かるようにしてございます。

皆さんのお手元に長い札があります。これは、放置自転車対策の啓発グッズで、放置自転車にくるっと巻くんですけれども、そのQRコードに当てていただくとデジタルマップが見える。この啓発札は、今まで赤い荷札だったんですけれども、すぐにちぎって捨てられます。放置自転車が多いところに赤い荷札がいっぱい散乱することなので、これはユポ紙という手でちぎれにくい紙にしておりますので、家まで持って帰ってと思って、そういうものをつくりました。そこに掲載しながら、啓発をしていくということを今進めていっております。

あと、駐輪場というのは約2種類ございまして、通勤通学のための駐輪場と繁華街の対策のための駐輪場というのがございます。できるだけ、通勤通学の駐輪場は基本的に確保しつつ、買い物に来るためなら自転車は控えて頂きたいと思っているので、そこら辺は強弱をつけようと。ヨドバシカメラの横、ほとんど買い物ですから。だけど、天六のところは通勤ですから、あれはちゃんとしないといけない。また、そこら辺は色分けをしながらしないといけないと思っています。

残る課題は、北新地です。ほとんど通勤です。北新地にお勤めの方が乗ってこられ、4時に帰る場所なので、それは何とかしないといけないと思っております。

学校関係でいきますと、結構力を入れていきます。学校は教育関係、夢づくり事業ということフラグ上げながら進めています。ここは専門的なホールも多いので、中学校の2年生は、大阪四季劇場へ行って観劇いただき、小学校6年生は全員シンフォニーホールでコンサートを聞いてもらっています。最近、ダンスへの関心が高いので、ダンス大会をやっています。大阪城公園内のTTホール、700名ぐらい入るホール、そこで開催しています。これは区内の専門学校、放送技術系の専門学校が音響、照明、ダンス、ボランティアでカバーしてくれているので、そのカバーによって成り立って

いるというものでございます。

出前授業というのは、これキャリア教育です。中学校1年生か2年生になると、企業の人に来てもらって、仕事について話ししてもらおう事業があります。そこに参加いただいている企業さんは100社。後で申し上げますが、その100社のうちから40社を選定し、土曜日に夢キタ万博というのを開催いたしました。これは後ほどお話します。先ほど映像が流れていたもので、11月11日土曜日に、スカイビルをほぼ全ての部屋を借り行いました。ターゲットは、北区に住んでいる中学生、高校生です。北区で学んでいるということがメインでやりました。

ここに来ていただくと、ここでしかできない職業体験、話じゃなくて実際に体験をさせていただけるというブースをたくさん設けました。全部で40社がこれに協力してくれました。それは、先ほどの官民連携で、これはボランティアで来ていますから、40社全部手弁当で参加しています。前日までいろんなトライをしています。後で申し上げます。いろんな工夫をしながら子どもたちのためにということだけを考えて、あそこでいろんな工夫をいただきました。

企業は企業で楽しかったみたいで、40社も来ると、お付き合いが始まるということで、非常にこういう場がありがたいということの感想を企業側からもいただいております。

もう一つ、北区にとって大事なことは、今まではうめきたという工事中の場所で、スカイビルとルクア、グランフロントの間は完全に分離されていたので、今ようやく通路が通りましたということで、これから北梅田で何か一つの固まりをつくっていきたいということがあったので、スカイビルとルクア、グランフロントが共同で何かできるようなことを意図しましたので、こちらには、J RとかU Rが参加しているということです。

それと、全て行政がやってしまうとやっぱり面白くないので、地域の皆さんにも協力いただいてということだったので、青少年指導員あるいは体育厚生協会、ジシン本

サポーターの皆さんにもご協力いただきながら、一部のコーナーを分担いただいたという経緯がございます。

これが10階で、ここには27社の企業が参加をしまして、冒頭流れた映像はこの映像です。この中にマスコミが6社入っていました。関テレ、毎日、それから読売新聞、産経新聞、ジェイコム、ラジオ大阪、そういうことでいろんな報道に載ったということでございます。

ほとんど私、バックヤードで見えています。大人の文化祭でしたね。いわゆる明日から来る子どもをどう楽しましてやろうかと、もう本当に献身的に考えていました。

3階は講演会場がございます。この中では、半分、地域あるいは団体の長の皆さんをご招待しました。教育委員会から来て、市長も視察に来ていました。PTAの役員の方も来られていました。結構関心を持って見ていただきました。

3階の会場には空飛ぶクルマ、東京モーターショーで展示されたものの実機です。エンジンを搭載して、これは本当に飛んだ車です。バッテリーだけ抜いていましたけれども、やってきました。ここ結構人気スポットで、あとP e p p e r君が35台になります。これソフトバンクの意地で、P e p p e rを35台並べて、万博ダンスをプログラミングしていました。ミャクミャクと一緒に踊ると、非常に高度にやわらかい動きにプログラミングはされていました。多分、来た人はほとんどこれに圧倒されたような気がします。

その中で、1番は命の事業。これ、結構有名な方で、腰塚勇人さん。2番はJ A X Aではやぶさを運転した武井さんという博士、3番目は、最近よくテレビに出ている青柳美扇さんという書道家です。4番が阪神タイガースの前監督、矢野さん。何か泣かせる話だったらしいですね。私は、いろんなところに行き聞いてないのですが、結構この話に泣かされたという人がおります。

来場者が少なかったのは1番の命の授業です。もう、想定しながら動きました。子どもたちに命の大事さを聞いてほしかったんです。でも、こういうところに呼ぶとあ

まり来ないですね。来年は中学校全校、全部この人に回ってもらう予定です。やっぱり学校にあってはいじめ、家庭にあっては虐待があるんですよ。やっぱり人の命の大切さという、夢だけじゃなくて、ベーシックなところを教えたいと思っています。

ファッションショーは空中庭園展望台で行われました。これは中学生37名、家庭科部の子が多かったですね。ほか、手を挙げてくれて、夏休みにデザインの勉強を専門学校がさせてくれて、一から服をつくれなから、いわゆるリユースというんですかね、古着を買ってきて、組み合わせて服をつくりました。11月3日、プロのモデルに来てもらって、歩き方の練習をして、もうそのとき、子どもたちガチガチです。50メートルのランウェイをこう歩いて行く、もう恥ずかしさのあまりこんな歩き方をしながら、下見ながら背中丸めてという子たちが、この日、堂々と歩いてパフォーマンスしながら歩いているんです。だから、そういう意味で、先生方はそれを見ているので、この教育は学校ではできませんということです。非常に中学校の校長先生、あるいは教員の皆さん、ここにすごく注目されていました。子どもたちも一つの自信がついたということを聞いております。

結婚式については、大淀中学校の先生がコロナで結婚式できなかったんです。結婚式を挙げられなかったのも、梅田曾根崎のベルエベルという学校はウェディングプランナーコースがありますと、誰か結婚式を挙げる人がいたら請け負いますよと無償でやってくれたんです。大淀中学校の1年生と教師がつくる結婚式、うれしかったと思いますよ。僕、新郎さんと会いましたけれども、結婚式を延期してよかったと言っていました。自分の教え子に囲まれて、教え子が考えてくれた結婚式です。教え子さんは結婚式のウェディングプランナーの仕事の体験をしたんですよ。これは、なかなか面白かったです。

1階の広場には、ここはテーマが防災だったので、これは仕事の展示、体験なので、自衛隊の仕事、警察の仕事、消防の仕事の体験なんですよ。私は、自衛隊にブルーインパルス飛ばしてと言うたんですよ、スカイビル上空飛んで欲しいと。しかし、これ

は知事じゃないと要請できませんと言われ、ブルーインパルスジュニアといいまして、ミニバイクなんですけれども、宮城県から陸送してくださりました。当日、この排気口に赤と青の発煙筒をたいて、万博カラーで走ろうと思っていたんですけれども、前日の晩、雨が降り、そしたら石なので滑っては駄目ということで、その演出ができませんでした。

下は、これは笠井委員の発案で、災害時におけるお風呂持ってきて欲しいというから、笠井委員の一言でお風呂を持ってきました。いわゆる防災の展示、ふだん、自衛隊のそういう活動を見ないから、災害時には小学校にこんなものがポンと置かれるんですよ。だから、別のインパクトがあってよかったなど、お風呂とか給食車を持ってきました。もうそんなほうがええかなと、ふだん見られないもの。消防はまた頑張っていて、この3つ、対抗しはるんですよ。何か自衛隊が頑張るから消防はロープ降下訓練をしていました。八尾空港から消防へり出していましたね、地上との交信していました。起震車は外国人にはすごい人気でした。何かジェットコースター乗っている感じがします。警察は、がれきの上でも進んでいける車とか、青バイという、白バイじゃなくて青いバイク、白バイは交通取締り、青バイというのは街頭犯罪取締り、大阪府警にしかない青色のバイクらしいですわ。それを持ってきました。見たことないだろうということです。そしたら、消防がうちには赤バイがあると、赤いバイクもって、これは先に消防車両の先頭を走るバイクらしいです。それぞれが何か楽しみながら演出をしてくれたように記憶しております。

スカイビルだけでなく、屋外の施設も展開をしています。大淀中学校ではオリックスバファローズが野球教室を野球部の子たちにしてくれました。これは青少年指導員にお願いしました。西野委員が1日ついていただいて、後で感想いただいても結構かと思います。「投げる、打つ、守る」の基本を教えてください。北スポーツセンターではバスケットボールチームがバスケットボール指導、それと昼から陸上選手が来てくれて、走り方教室をしてくれています。日本ペイントさんの近所にセ

レソフットサルコートがあるので、そこにセレッソから勝矢さんという昔の日本代表、ドーハの悲劇のときに選手、日本代表でおった人が熱くフットサルの指導をされていました。やっぱり私達が見ても、全然違います。ボールが生き物のように動いていくという、やっぱりレベル感が違う、熱い、本当に熱血な指導をしていました。見に来たお母さん方が感動していましたね。

そんなことが、子どもたちに夢を与えるということでございます。あとのトライとしては、せっかく中之島って結構値打ちのある場所なので、この間、中之島で陸上競技大会がありました。5レーンつくって、5レーンの70メートルのコースを中之島のあの場所に設置をしまして、大阪ガスの朝原さんに来てもらってMCしてもらって、今年の日本最速ランナーの方が来てもらって、走り方教室があって、ドーンと走らす、小学生対象だから保護者がすごく喜んでいました。

夕方から柔道で金メダル3冠の野村さんが来てくれて、夢をかなえるということの講演をしてくれました。これに税金は使っていません。スポンサーがつきます。だから、全てのことに税を使わなくても、その場所を使えば、面白い企画であればスポンサー来てくれて、やれるという、裏でいうそういう実験です。

同じことが11月5日に行われました。大阪プロレスと防犯教室をセットしました。大阪プロレスと天満警察署のコラボです。よく中之島の天満警察がいろんな自転車講習とかやってもほとんど人は集まらないです。だから大阪プロレスの人気を借りて人集めし、そこで防犯を合わせてやると。これもそれにスポンサーがつくと、大阪プロレスの経費がかからないと。我々は後援しといて、場所を貸しますという、場所を貸すのと口を出すだけという、これが一番ええなという、こういう実験もやった。

この後、これはスカイビルに移します。年明けてから、ちょっと暖かくなったぐらいのタイミングで、スカイビルでこのことを大淀警察とやろうと、そんなことで考えています。

あと私の役割の中で、ちょっと2017年から19年は福祉関係の会長をしていたので、

今小学校でやっています子どもサポートネット、これは貧困対策、虐待対策で子どもたちをフォローする、そういう仕組みをつくりました。

2020年になりまして、ワクチン担当になったので、集団接種会場等の運営に従事をいたしました。現在、区長会議の会長をしているので、ここで皆さんに関係あることだけ申し上げますと、だんだん公園の維持が難しくなってきました。草ぼうぼうです。予算もつかないし、なかなか回れないので、もっとハード整備を、もう一回直そうということで、これから豊崎の公園からやりますけれども、土を入れ替えるときに、にがりの中に入れることによって雑草の繁殖を防ぐということが一つ。それとアプローチを土舗装という、土とセメントを混ぜて土色のコンクリートがある。これだったら雑草が入ってこないのと、水の保湿があるので、夏場でもアスファルトと違ってはだしで歩ける。そういうものをやっていこうということを決めまして、順次拡大する予定でございます。

あとの小規模公園は、パークマネジメントという民間業者の委託ということが成り立つかの検証をしています。なかなか公園愛護会というのも高齢化していった難しいという中で、でも税の投入も限界がある中で、いわゆるこういうことを今模索してございます。

それと放置自転車対策は、実はよく撤去していますけれども、撤去って赤字なんです。それはあかんやろうと。せめてイーブンパーにしておきたいということで、これから撤去保管料の見直しというのを進めていこうと。ただ、これ、条例で決まっているので、また先生方のご意見をいただきながら、来年の3月の市会の条例改定を目指すということを今考えております。

駐輪場の利用料金も検討してまいりたいと。先ほど申しましたように、通勤通学の利用料金は150円の料金をキープしながら、ヨドバシカメラの横はあかんやろうと、やっぱりOsakaMetroより高い値段つけておかんと、150円やったら自転車利用者が止まらへんということも、うまく実験をしていかなあかんやろうと、そういうことを

考えながらこれから進めてまいりたいなと思っています。

私の説明は以上で終了します。どうもありがとうございました。

○吉川議長

区長、長時間ありがとうございました。

それでは、委員の皆様のご意見を聞いてまいりたいと存じます。

委員の皆さんには、本日受付で意見を述べたい項目を確認していただいておりますので、できる限りそのご希望のテーマに沿ったご意見を述べていただけるよう、進めてまいりたいと存じます。また、できるだけ多くの方にご意見をお聞きしたいと思っておりますので、円滑な議事進行にご協力をお願いいたします。

それでは、まずテーマ1の防災・防犯につきまして、ご意見をいただきたいと存じます。

それでは、順不同になりますが、防災のテーマを、笠井委員、お願いいたします。

○笠井委員

笠井です。ありがとうございます。言い訳させていただきたいのと、少し自己紹介をさせていただきます。区長から笠井が笠井がと、何回も言っていたので何者ぞということで、北区運営方針の中にあります地域防災という部分の経営課題に関しまして、北区ジシン本の事務局をさせていただいておりますので、地域の共助の前の自助の啓発活動をさせていただいております。

経営課題9、10のところで福祉課の子育て支援のところでありますように、子育て支援拠点ぐうぐうというのを中津と豊崎で2拠点させていただいていまして、子育て支援連絡会や連携会議、北区の自立支援協議会のほうにもメンバーとして入らせていただいております、そのようなことをしていまして、決して自衛隊さんを動かしたのは私ではないので。本当に、被災体験から、やはりお風呂というのが心のケアにな

るところでの発案ぐらいのことで、有言実行してくださったのは区長です。

その中で、意見といいますか、すばらしいやっぱり官民連携の着眼点がありまして、その中に私が今北区のほうと取り組んでいることの自助の啓発でジシン本サポーターとしての活動を、また子育て支援もなかなか北区19地域、とても広くて課題が細分化していて、子育て支援の出張イベントというものを7地域で開催しているんですけども、大まかに中学校区で開催しているんですけども、それぞれがやってしまうと小さなムーブメントにしかなくなくて、そのあたりのやはり大きな渦の中にも混ぜていただけたほうが、本当に手の届かない無関心層とか声を上げられない方というのにつながっていくと思っていまして、そのような福祉的なボトムアップというの今後一緒にさせていただけたらなというふうに思いながら過ごしています。

防災に関しましては、昨日ちょうど中之島のタワーマンション55階建ての41階のビューラウンジで防災講座をなさいますということで、いつもどおりトイレの体験ということで実験をしてみたいなことを理事会の方でさせていただきまして、そういった方たちと中之島地域のお餅つきとかが、つながっていくようなイメージで防災を広めていくというところで、決して、マンションの方たちに町会加入するというのもなかなか難しいアプローチなので、防災を通じてそれぞれの輪っかがつながっていくようなアイデアを、より一層期待しています。防災と子育て支援、ちょっとまたがって話をしてしまったんですけども、いわゆる子育て層というのも防災を起点にでないと、なかなか出てきにくい方もいらっしゃるのかなということも思いまして、自立した家庭、経済的自立はしているけれども孤立しているみたいな、そういった北区の住民になお一層目を向けていただけたらということで、質問なのか、感想になってすみません。

○吉川議長

ありがとうございました。

ただいまのご意見に対して、小林課長、お願いいたします。

○小林地域課長

地域課の小林でございます。笠井委員にはふだんからジシン本サポーターはじめ様々な活動にご協力いただきましてありがとうございます。

今、お話でも出ましたとおり、ちょうど中之島のタワーマンションのほうからお声がけをいただいて、防災活動ということで、ちょっとどうやっていったらいいのかわからないので支援してくれないかというようなお話が地域課のほうにありまして、その中で、やはり活動していただいている、その自助の切り口、そちらのほうからのほうがやはりマンションの住民の方には入りやすいのかなといったこともあってご協力をいただきました。

本当にマンションに住まれている方は、普段なかなか地域活動とかに出てこれないんですけれども、やはり一番身近な課題というか気になっているところ、防災というのをテーマにさせていただいたら、そういった子育て層の方もはじめ、いろんな方が参加してくださり、その中で、やっぱり周りとの関わりとかということも大事だなというようなこと、そういったところから、まずはマンション内での横のつながりといいますか、そういったところから始まり、どんどん地域とのつながりというところにつながっていけばいいかなというふうなことで、区役所としても取組を進めていきたいと思っています。

本当に、北区ではマンションがどんどん新しく建ってもきていますので、そこをどういうふうな形でコミュニティといいますか地域のほうと結びつけていくのかなということが本当に大きな課題になっています。まだ、そういったマンションでの取組、ちょっとコロナ禍がありましたので、なかなか活動の方がちょっと止まっていたところはあるんですけれども、広報活動とか啓発しかできていなかったところがあるんですけれども、今回の中之島のマンションをはじめとして、これからもどんどんそうい

ったニーズじゃないですけども、言ってくるもらわなくても区役所のほうからも、そのマンションのほうにやってみませんかというような声かけもしながら取組のほうを進めていきたいと思っております。また、委員の皆様方のお近くでも、そういったお声、ちょっとやりたがっているけれどもどうしたらいいのかなというふうに聞いたよみたいなことがあれば、ぜひとも区役所のほうにお声がけいただけましたら、支援の輪を広げていきたいと思っております。そういったところに、また地域の皆様方をはじめご協力いただくことも出てくるかと思えます。どうぞよろしくお願いします。すみません、回答になっているかどうか分からないんですけども、頑張っていきますのでよろしくお願いします。

○吉川議長

今把握されているマンションの戸数とか何戸ぐらい把握されていますか。大体300戸ぐらい、400ぐらいでしょうか。

○小林地域課長

どんどん、増えてきています。

○吉川議長

また機会がございましたら、お話しいただければと思います。

○小林地域課長

まだ、なかなか全てのところには行けないかと思うんですけども、今、区役所のほうで取組を進めているのは、やはり分譲といいますか、きっちり管理組合さんのあるマンションのほうを中心に、支援といいますかつながりづくりを進めさせていただいておりますので、またよろしくお願いします。

○吉川議長

どうぞよろしくお願いします。笠井委員、よろしいでしょうか。

それでは、次にまいります。

西野委員、お願いします。

○西野委員

菅北地域の西野です。いつもお世話になっております。

2点、防災の方から1点、11月11日に夢キタ万博が行われた日、僕、午前中はオリックスバファローズのちょっと手伝いをさせていただいていたんですけれども、その日の晩に防災キャンプというものを菅北地域で行いました。避難所において避難所生活を体験していただくというイベントをさせていただいたんですけれども、そのときに久しぶりに、我々も久しぶりに備蓄倉庫のほうを確認させていただきました。そのときに、小学生の感想にもあったんですけれども、あまりにも備蓄品が少ないんじゃないかということで校長先生に話をしましたところ、教室を一つ提供するのであれば、そこに備蓄品を増やすことは可能ですかという質問をまずいただきました。こちらがまず1つ目の質問です。

2つ目です。防犯ですけれども、先日またもやといいますか、JR天満、いわゆる裏天満ですね、あそこで火災がよく起きるんですね。その都度消防が入れずに火事が広まってしまうという事件、火災がよく起きるんですけれども、池田町のほうで、見回り活動のほうをいろいろさせていただいています。看板等々をしまってくださいような啓発活動しているんですけれども、そちらのほうの成果というか、どのようにお考えなのかというのを聞かせていただきたいなという2点になります。

○吉川議長

地域課でよろしいでしょうか。

小林課長、お願いいたします。

○小林地域課長

地域課の小林でございます。西野委員にもふだんから地域活動をいろいろご協力いただきまして、どうもありがとうございます。

今言っていただきました1点目、備蓄品の件ですけれども、毎年大阪市のほうから備蓄品の補充という形でやっております。1避難所あたり約300人程度必要な量を確保していますが、場所があれば、どれだけ増やせるのかのいう点は確認させていただきます。

ただ、その点におきましても各地域によって備蓄倉庫の場所にはちょっと限りがあります。おける地域にだけ、そしたらいっぱい置けるのか、万が一災害があったときには、それではほかの地域でも足りなくなったときにどうするのかというような問題もあるかと思います。その辺と併せまして、大阪市のほうとも確認は進めていきたいと思っています。あるに越したことはないと思うんですけれども、災害がなかったときにはまたその分を回して行って訓練に使うとかというようなことで、備蓄品の活用もして行って啓発もしていているところではあります。すみません、ちょっとこの場ですぐにご返答できなくて申し訳ないんですけれども、一地域だけではなくて区内全域、区民の皆様というような観点でも併せて確認をしてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

あと2点目、裏天満の件ですね。この前も火事等もありまして、休みの日の昼間から大変なことになっておりました。もうニュースとかで見て、これ、あそこの店やんみたいな感じで、えらいことになっているなというのを見たんですけれども、その次の日に、私も菅北のほうにまたお邪魔させていただいたときには、何事もなかったか

のように、お店、営業されておって、非常にびっくりいたしました。

先ほどご紹介もいただきましたように、池田町のあたりで路上ですね、道にはみ出して営業されているお店というふうなところに啓発活動というのを、月1回を基本にということではさせていただいているんですけれども、なかなか成果はと言われると、目に見えてはっきり出てきているというのはちょっとないかなと、なかなかすぐには出てこないかなというのはあります。出しておられるところ、声かけもしながら、ここ駄目なんですよとお声がけをお店の方にさせていただくことはもちろんのこと、先日も行ったときには、そこの外にテラス席のように店、椅子とか出してはって、そこで食事されているお客さんにも声かけさせてもらいました。これ本当はね、ここ駄目なんですよと、いやそなん知らなかったわと、ええ感じやな思ってここで食べていたんです、飲んでいたんですみたいなお話もされていまして。なかなかお店の方だけに言っても進まないというか、「何でやねん、よその店もやってるやんけ」「うちだけに言うんじゃなくて全部の店どけたらうちもどけたるわ」みたいなことを毎回言われて、繰り返し、ちょっと情けないなと思いながら啓発活動はしているんですけれども、お店だけじゃなくて、そこに来られているお客様とかにも、今回の火事の件もありますし、こういったところを出していると、なかなか緊急車両も入ってこれないんだよと、それでどんどん被害が大きくなることもあるんだよというようなことも含めて、粘り強く啓発活動は地域の方と共に続けていきたいなと思っておりますので、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

○吉川議長

ありがとうございます。西野委員、ただいまのお答えでよろしいでしょうか。

区長にお尋ねしますけれども、これ条例でそういうところ、ちょっと取締りはできるのででしょうか。

○前田区長

基本的に、公道に物を設置する、公道で営業するというのは禁止されていますから、指導することになるんですけれども、そのときは一瞬引いてくれますが、私たちが帰った後に復活するという。地域との連携はどう考えているかといいますと、地域は地域で決して対立構造は望んでいません。実は、商店街なんですけれども、組織がないんです。全部1件ずつの店で、何とかその対話の糸口を図りたいという手段に行こうと。だからあまりこちらから過激なことをして、一斉に撤去みたいなことはちょっとやめてほしいということがありながら、ソフトランディングしようということが一つの戦術として共有化していますということです。

それと、先日読売新聞にも掲載いただいたんですけれども、やっぱり広く世間にこの今の現状を周知してもらおうということで、マスメディアをこの記事に掲載してもらおうとしているということを今2番目の作戦として展開しだしたところです。なかなか一気に解決するという問題じゃないんですけれども、少し前向きになってくれてあるお店もあるので、一步ずつファンをつくらざるを得ないかなということで、少し時間かかっていますが、必ず行政はこのことを完全に把握している状況の中で、改善に向けて努力を惜しまないという姿勢で続けていきますので、しばらくご支援のほうよろしくお願い申し上げます。

○吉川議長

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、お待たせしました、二口委員、よろしくお願いします。

○二口委員

本庄の二口です。先ほど西野委員の話もありましたけれども、店から火が出したというときに消防署からの営業停止期間というのは決められていないんですか。翌日か

ら営業されているというところも、私どもの地域でもそういう話があって、これ消防署から営業停止が出されないのかなという話があったので、その辺のところはどうですかね。

○吉川議長

ただいまの意見に対して、ご説明いただけますか。

○前田区長

多分、停止命令出てないんでしょうね。

○二口委員

と思います。その辺が不思議でね、本来でしたら、そういうのは消防署が徹底的に調べて、停止をかけるはずなんですけれども、私の記憶では。

では、本題に入らせていただきますが、先ほどから出ているマンションとの連携ですね。これ、私どももタワーマンションにしょっちゅうアプローチして、防災一緒にやりましょうということで、度々申し入れているんですが、なかなか共同できないという状況で、今週末にも豊崎中学で避難訓練をやるんですけれども、それについてもお手紙を出して、ぜひ共同でやりましょうという形でアプローチはしているんですけれども、なかなかコミュニケーション取りづらいという状況でございます。できれば行政が後押ししていただいて、一緒に働けるように、地域としては希望しています。

それから、もう一点は避難所における自助、共助の問題ですね。これ、私ども防災委員会の中では、大きな災害のときに避難所に避難した場合に、食料品について、私どもの地域としては町会と顔見知り以外の方については、公助のほうにお願いして欲しいと。もちろん、その方も所得税も住民税も払っていらっしゃるわけです。そういったことで、そちらの町会に加入しない方については、公助のほうに、行政のほうに

申入れしてやってくれというふうな意見が圧倒的に多いんですよ。この辺も行政としての判断、どのようにしていただけるのかということをお尋ねしたい。

それからもう一点は豊崎中学校の備蓄教室、半分か、中学校が使っているんですよ。古い教材を置いたりソフトを置いたりして。だから私どもの備蓄している品物の配置の位置がバラバラなんですね。これをきちっと必要順番に応じて並べ変えようとするんですけども、場所は教室の半分しかないので、それが不可能なんですね。本庄小学校においては数年前に全部使う順番に並べ替えてきちっと整理をしたんですけども、豊崎中学校においてはそういうことはちょっと今できないということなので、その辺のところもひとつお答えいただきたいなと思います。

以上、2点でございます。

○吉川議長

ありがとうございます。

ただいまのご意見に対して何かご回答いただけますか。

地域課小林課長、お願いいたします。

○小林地域課長

地域課、小林でございます。今、二口委員のほうからもいただきましたタワーマンションへのアプローチということで、本当に地域の方からも、本庄地域、いろいろ熱心にアプローチしていただいているということで、ありがとうございます。

区役所のほうからでも、できるだけ後を押すという形では、引き続き頑張っていきたいと思うんですけども、やはりそのマンションの方が、やる気になっていただかないと、押しつけでやらされている感が出てしまうと、どうしてもまた逆効果にもなってくるところもあるのかなと思います。引き続き、協力させていただきながら、そういったところにもアプローチ、一緒にやっていきたいと思いますので、どうぞよ

ろしくお願いいたします。

○二口委員

お願いします。

○小林地域課長

あと2つ目、避難所での備蓄物資の配分ということでありました。今おっしゃっていただいていたのは、町会のほうで準備されている備蓄品についてはということですか。

○二口委員

学校に置いている備蓄品。

○小林地域課長

学校に置いている備蓄品も、大阪市から置かせていただいているものになるので、あそこに置いているものが一旦全てのものになるので、先ほど西野委員のご指摘にもありましたが、数が少ないというのものもあるかもしれませんけれども、やはりその中で災害が起こったときに、避難所に逃げてこられる方、避難してこられる方というのはもう全て同じような状況で、行くところがなくて来られるというような方になってまいりますので、自助、共助、公助というのはあるかとは思いますが、避難所運営の中で、何とか協力してやっていっていただけますよう、また備蓄品の管理につきましても、当方のほうで確認はさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

あと、豊崎中学校で、その場所がないという問題です。豊崎中学校さんに限らず、今、各学校と、また北区内、人口も増えて子どもさんの数も増えて、教室が足りない

とかいうような問題がほかの地域でも結構たくさんあります。その中で、やはりちょっと場所については、備蓄品の場所については何とか工夫していただいて、お願いして確保していただいている、災害時の避難所になる場所でもありますので、ご協力をいただいております。

なかなか、今おっしゃっていた豊崎中学校で今教室の半分しか使えてないということはあるかと思うんですけれども、そのあたりも、区役所としましては引き続き学校のほうと調整しながら、できるだけ本当に災害、いざ災害があったときに、思うようにその備蓄品が出せなかったら意味がありませんので、そういったところは区役所としましては引き続き学校のほうと調整は進めてまいりたいと思いますので、また、お気づきの点がありましたら、逐一おっしゃっていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

○二口委員

ありがとうございます。私も地域としては、とにかく避難所開設のときに、ＡＢＣ順に決めてどれを一番に出すのかというところから順番に並べていくというふうな考え方をしていますので、ぜひ協力のほどお願いします。

○小林地域課長

ありがとうございます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

○二口委員

はい、ありがとうございます。

○吉川議長

ありがとうございました。

それでは、次のテーマに移りたいと存じます。

それでは、テーマ2の福祉、健康、子育て、教育についてご意見をいただきたいと存じます。

最初に、井筒委員、お願いいたします。

○井筒委員

体協の井筒です。よろしくお願いいたします。

健康についてということで、私が一番不健康なので、ちょっとしゃべりにくいんですが、やっぱり健康が一番、防災のことも大事ですが、健康じゃないと防災のときも逃げられないということもあると思うので、健康に生活していただきたい、全員がね。そのときに、今さっき区長が言われたみたいに、公園が大事だと思うんですが、非常に汚いです。雑草もむちゃくちゃ多いです、吸い殻に関しても非常に多いですね。北区では無理だと思うんですが、条例でたばこ税取ってそれで掃除に回すとか、何かそういうことでも考えない限り、これいつまでいたっても、地域で清掃してもきれいにはならないと思います。

最近、植木もかなり伐採が進んでいますね。やっぱり緑の多い公園で若い子どもから老人まで憩えるような、そういうような公園をもっとつくっていただきたいと思います。

ごみに関しても、何と言いますかね、梅田辺りはきれいなんですが、ちょっと裏道に入るとかなりごみも多いです。地域の方が掃除清掃されていると思うんですが、それも次の日にはもう元に戻っているという状態が非常に多いですね。だから、そういうのも、これも教育、大人を教育するというのは難しいかも知れないんですが、子どもよりはやっぱり大人がもっとごみを捨てないような、そういうような啓発をしていただきたいなと思います。よろしくお願いいたします。

○吉川議長

ありがとうございました。ただいまのご意見に対して、ご回答のほうよろしく願います。区長、お願いいたします。

○前田区長

ごもっともで、恐らく、ごみを散らかしているのは子どもじゃなくて大人のような。子どものごみは大体分かる、風船とかね。

梅田ってきれいに見えるんですが、植え込みの下はたばこの吸い殻だらけです。視覚的に見えないだけで梅田の木はかわいそうです。たばこ、ニコチンの樹液を吸う。ほとんど土が見えないぐらい、もうたばこが埋まっています。

そういうことで、一つは、万博の年までに屋外での路上禁煙ということになり、喫煙所を整備して、特に都心部へ今整備を進めております。それと先ほどの公園の件は、ハード整備にも限界はあるので、もう愛護会がかなりしんどくなっている、けど、そこにまた新しい運営補助金が出るかとする、それも財政的に厳しいという中で、ハード整備を少し変えようという動きが一つあります。それと、先ほどの資源という言い方をした中で、実はいくつかの企業に公園清掃をスタートしてもらっているんです。いわゆる企業の力も借りようということも、ここはできる可能性がある、中津からスタートし、企業の方に定期的に公園の清掃という活動に参加いただいているということ、この夏前から始めましたので、少しその拡大を図っていきたいなと思っています。朝の時間だけでもちょっと掃除手伝っていただいてということをしていかないとあかんと。先ほどのデジタルサイネージみたいなものが路上に出てくると、いろんな行政情報を、たばこ吸わないでとかごみ捨てないでと、これは当たり前なんですけれども、もう一回流さないと仕方ないのかなと。一方でそういうことをする。

それと、小さな公園も管理できていない公園があるので、今、パークマネジメントといって民間会社が入って公園管理するという手法があるので、その代わりちょっと

そこで商売して何かもうけてもいいよというものもあるので、そういうものにも少し挑戦したいということで、今、その公募にかかる準備を大阪市全域で進めてございます。万博でたくさんの人が来て、ああ大阪ってこんな街かみたいなこと言われて、帰られないために、そこに対しいろんな対策を、ハードそれからソフト対策を二本立てで準備していきたいと思っています。

○吉川議長

どうぞよろしくお願いします。井筒委員、ただいまのご回答でよろしいでしょうか。

○井筒委員

はい。ただ、私、よく京都に行くんですけども、京都はごみ箱がすごく多いんですよ。もう大阪市はほとんどないですけども、京都はもうごみ箱が本当にいたるところにあって、意外と観光客が多いけれどもごみはやっぱり若干少ないような気がしますね。ごみ箱を設置したら、それもまた回収とかですごくお金かかるのは分かっているんですけども、それで何か商売ができたらいいかなとか思うんですが、いろいろ考えていただきたいと思います。よろしくお願いします。

○吉川議長

町がきれいになるということは我々も望んでいますので、どうぞよろしくお願いいたしますします。

次に、木下委員、お願いいたします。

○木下委員

大淀東の木下です。経営課題の8と経営課題の11のところに、健康長寿とあります。限られた予算の中で、この予算は利用され、事業の予算割りをされているのは当

たり前のことなんですけれども、やっぱり減っていつているこの2つは何かなと思っています。例えば、地域福祉コーディネーターという名前がありますけれども、これは各連合のところに設置されていますよね。今のところ半日の契約となっているはずです。こっちのほうは、高齢者福祉政策の中で、生き生きと自分らしい生活を送るために介護予防が大切とかいう取組とかいっぱい書いてありますね。そしたら、地域福祉コーディネーターってそこで在駐している人で、それが半日というのはすごくいろんな条件としたら、連絡しようかなと思ったりとか、なかなか難しいのではないのかなと思うんです。予算が、ここが、区長のお話しあったように、未来の子どもらにお金を使うのは、それは大事なことが分かりませんが、限られた予算の中で、この健康長寿であったり、地域福祉のところの予算が若干減っていくというのは、バランスの、限られたものをどっちに曲がるかによってお金って流れるのかなと思うんですけれども、そこらあたりがちょっと気になるなと思っています。

もう一つ、介護予防の集いの場であったり、いきいき体操、はつらつ脳活性化教室とあるんです。私も続けさせていただいて、高齢の方の健康長寿のはつらつ脳活性化はすごく大切なことなと思って、よくぞ北区は中心になってずっとやられてきたというのはすごくうれしいことやなと。サポーターも頑張っている限りのことは、多分皆さん、ここで何人かのお顔は知っているから、やられているんやと思うんです。

ただ、今、最初のところの理念が随分、なかなかボランティアが育たないとかいうのもあると思うんですけれども、体操自体も変わってきているんですね。わはは体操であったりとか何か吉本の体操であったりと、必要に迫られてそう変わっていつているのかなとか思ったりするんですけれども、何かそこら辺の理念の変更というのが若干、自分の中ではぶれそうになるん違うかなと思うんですけれども、その緩くすることによって、そういう地域の集いの場の設定を増やそうとされているの違うかな。それはそれでいいことなんですけれども、その矛盾をうまくちゃんと分けしながら、目標はこっち、これやねんど、脳活性化してみんなが予防を心がけようとかいう、そこ

らあたりがぶれへんようなことをしてもらいたいなと思っています。

それと、この教室をすることによって、町会に入っていない人も、入っている人も関係なく、新しくそのマンションなんかに来られた方で昼間独居の方なんかは、保健センターなんかには相談されたりとか、地域から全然今まで知らなかった人も飛び込んできて、ここに入らせてくれという、それで仲よくなって、地域の高齢者同士がまた話ができて、居場所になるというのはすごく大事なことやと、すごくいいプログラムだと思うんです。それをずっと維持するためには、モチベーションをボランティアがしっかり持てへんかったらあかんなと思っています。そのために、随分健康課の方が研修のお手伝いしてくれたりとかされているんです。だから、基本的なことをしっかり持ちながら、目標はここやねんということをしっかり忘れないような形でなれたら、幅広く充実できるのかなと思っています。

それ、週に1回とかその場所によったら2週間に1回の教室だと思うんですけども、やっぱり高齢の一人暮らしの方になったら、あれ来えへんでと、おかしいなという、そこら辺で福祉コーディネーターさんであったりとか民生委員さんであったりとか、つなげることによって、結局、その人の生活の一部でしか干渉できませんけれども、そういう感性を地域の皆さんが一緒に持てるいうことを広げていくことがすごく、変な話、さっきおっしゃったように、ボランティアの仕組みの中で大事なかなと思うんです。そういう感性を持つためには、やっぱり役所の方もそういう物事の方で私にサポートしていただけたら、違うの違うかなと思っています。変な話、お金が減るといのはやっぱり致し方ないことやけれども、そういう感じかなと思ったりとか、基本からずっと変わってきて、言い方悪いね、簡単なところの入り口になるというのは、そこで流されてしまわへんように、ぶれへんところ、やっぱりモチベーション上げてもらうような仕組みを職員のほうに持ってもらえたらありがたいかなと思っています。

以上です。

○吉川議長

ただいまの木下委員に対する回答は、区長よろしくお願いします。

○前田区長

木下委員からの質問の中で、一つ予算的なことの問題、それといわゆる健康行政の体系的な問題の2つの軸があったので、予算的なことは経理担当のほうから報告させていただいて、もう一つは健康課のほうの課長のほうから、いわゆるいろんな体操の施策とかそういうことについての説明をさせていただきます。

○吉川議長

どうぞよろしくお願いいたします。

○池西政策推進課長

すみません、それではまず予算のほうなんですけれども、経営課題11ですね、ページでいいますと4ページになります。

経営課題11ということでちょっと下のほうになりますけれども、令和3年決算額、4年の予算額、5年の予算額というふうに数字が書かれております。真ん中の令和4年予算額というところ、一番大きな数字になっております。こちらの理由としましては、令和4年度がはつらつ脳活性化教室の周年事業ということで、健康課のほうでいきいき百歳体操のDVDを作成するという事業をしております。そのために金額のほうが大きくなっております。ただし、そういうのがありまして多いんですけれども、令和3年度から5年度に比べましては、少しずつ増額をしているところです。4年度は特別に記念のDVDを作成しましたということで、数字のほうが大きくなっております。

○木下委員

令和３年度決算と５年度予算としたら、３６と３３と書いてあるけれども。

○中野福祉課長

すみません、福祉課長中野です。よろしいでしょうか。

○吉川議長

どうぞ、よろしくお願いいたします。

○中野福祉課長

木下委員のご質問、ご指摘、経営課題８、地域福祉の予算決算のことと、それとそ
の中での地域福祉コーディネーター等の活用の在り方のご質問かなと承っております。
ご指摘のとおり、予算額を見ますと、例えば令和３年の決算額３６百万円のところ、
令和５年の予算見ますと、３３百万円ということで、これ、大阪市の予算というのは
基本的に財政状況が厳しい中で、年度ごとに一定の見直しを図られていくということ
で、こういった減についてというのはある程度大阪市全体でもちょっとこれは致し方
ない部分もあるかなと思っております。

経営課題８のこの予算といいますのは、いわゆる地域福祉のまちづくりということ
で、ここに掲げさせていただいているようなコミュニティソーシャルワーカーである
とか、各地域の会館に行っている、まさに木下委員がおっしゃった地域福
祉コーディネーターの皆さんの雇用であるとかというのを区の社会福祉協議会に委託
という形で、人の配置も含めて、委託を区からかけさせていただいて、その中で社会
福祉協議会が地域の実情に合わせて人材の確保でありますとか、ここにあるような町
との事業サービスであるような事業を展開している、予算というか事業

の中身としてはそうなっておりますので、木下委員おっしゃるようにどんどん予算が減ることで、地域の福祉は先細りになるんじゃないかというご指摘というのはご心配の部分もあるかと思いますが、その部分につきましては、予算をより一層効率的に効果的に使っていくということについては、私たち役所のほうも、これはちょっと上からの言い方ですけども、委託先として社会福祉協議会と連携しながら、常に予算のそういった見直しが地域における福祉サービスであるとかということに、サービスの低下につながらないような予算執行の在り方とか事業の見直しというのは常に求めていると思いますし、また、その部分で足りない部分とか新たなニーズに対応する部分でいいますと、我々区役所のほうも、地域の皆さんも含めて連携をしながら進めていきたいと思っています。

ですので、逆に木下委員をはじめとしたこの区政会議の場でも、そういったご要望なり気づきがありましたら、ぜひとも私たち、地域福祉のことでいいますと私たち福祉課のほうにどんどんご意見をおっしゃっていただいて、ご指摘をいただいて、気づきの場にもしていただきたいと思いますと思っています。

○前田区長

要はこれ、事業者への委託費用が下がっているということを木下委員がおっしゃっているところですが、今明確に答える数字を持ってないんで、別途回答させていただきます。

○木下委員

ただ午前中だけというのやったら、本当の地域づくりになれへんかなと思います。それが一つです。さっき、すみません、説明してくれてはるのに、途中変わっちゃってごめんね。だから、そのところで、健康長寿するんやったらずっと行ってる脳活性化教室というのはすごく大事なことだということはすごく思うんだけど、その

簡単なところにするんじゃないくて、でも入り口はちょっと下げ、簡単にできるところからこう持っていくと、完全な、完全というとあれやけれども、最初のポリシーの持っている脳活性化教室を目標とするんやでということの腹の据え方が見えへんかったら、やっぱり地域頑張らへんの違うかなと、体操しているだけ、集まっているだけで、好きなようにしとったらええわというままで居場所づくりをされるのは困るなど、私としたら、何にもなれへんようになったらいかんなど懸念するところです。でも、先生らはすごくよくしていただくし、保健師さんなんかも的確なアドバイスはしていただけると思うので、もったいないなと思っています。

○吉川議長

ありがとうございました。健康課長、お願いいたします。

○岩崎健康課長

健康課、岩崎です。木下委員にご意見いただいた点で、はつらつ脳活性化教室の理念ですけれども、もちろん、それが変わっているという考え方については、我々は持っておりません。地域住民の方の主体的な活動として、地域の介護予防に資するということの活動であるというふうに、それがもう平成22年からですかね、長年ずっと培われて継続されているという、大変全国的にも珍しい取組だというふうに考えておりますし、大切にしていかなないといけないと思っております。

そのために、活動内容のあり方については、木下委員おっしゃるように、どういった具体的なやり方がいいのかというのは、状況、時代に応じて変えていく必要もございますので、理念そのものをどうこうというのは我々も全然考えておりませんし、内容のあり方については、サポーターを支援していただく有識者の支援会議もございまして、市大の先生や専門家の先生のご意見いただきながら、対応しておりますので、引き続き、現場というか、実際にやっていたりしている方のご意見があるようでした

ら、そこもちろんやっていただいているのは現場の方々ですので、単に介護予防の運動をしているとか、何かゲームをしているということではなくて、木下委員おっしゃるように、地域のまとまりのある活動の一つ、大切な活動の一つだということが根本にありますので、そのところは忘れずに引き続き取り組んでまいりたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○吉川議長

ありがとうございました。

○前田区長

1点だけ補足させてください。官民連携という話をしました。来年、区役所の隣が関テレです。関テレさんは、昔のビデオ映像がたくさん実はございまして、それを認知症対策といったそういう活動に役立てることができないかという協議をしまして、そういうものを見ながら、昔話を語り合えるみたいなコンテンツを提供いただける話に今たどり着いていまして、新しいやり方として、そういうものを来年度テストしてみたいなど。新しいそういうものがあって企業も助けてくれながら、我々の保健師なんかも現場に入っていきながら、地域をサポートして、皆様が生き生き話し語らえるような、そういうメニューも来年度検討しております。やっぱり冒頭の話、2040年問題というのは、もう高齢者が3分の1を占めるというのはもう確定なので、そこに対する対策は手を緩めるなということだと思うんです。それは当然のことなので、それに向けての挑戦を引き続き進めさせていただきたいと思っています。

以上です。

○吉川議長

木下委員、今の回答で全てではないと思いますが、また別途回答のほうお願いいた

します。

お待たせしました。島村委員、よろしくお願いします。

○島村委員

改めまして、豊崎東地域在住の島村です。よろしくお願いいたします。

私のほうからは、令和5年度の北区運営方針の経営課題の7、小中学生のキャリア教育について、発言させていただきます。

実は私も18年間行政の仕事をさせていただいていまして、今は事務局がいらっしゃいますけれども、あちらのほうでどっちかといったら仕事をさせていただいていまして、今回はこちらのほうで座って発言させていただくということですのですごく緊張しておりますので、上手にしゃべれなかったらお許しいただけたらと思います。

私は今、京都のほうで大学生等に対する就職支援のお仕事をさせていただいていまして、その関係でキャリア教育についてご質問というか、ご意見をさせていただきます。

仕事を通じて最近感じていることが、近年の売手市場による影響ということもあって、学生間でのキャリアに対する意識の差というのがすごく大きくなっているなというふうに感じておりまして、先ほどもありましたように、私は小中学生の時代にキャリアに関する意識の醸成というのがすごく大事になってきているなというのを感じているところです。その点で、先ほど区長のほうからもお話ありましたように、夢キタ万博2023とか、子どもたちの夢づくり事業とか、そういった北区役所の行われているキャリア教育というのは、本当に大事と思っていますので、来年度も必要な見直しを行っていただきながら、ぜひ継続して子どもたちのキャリア教育、やっていただきたいなと思っていますのでよろしくお願いいたします。

もう一点、そのキャリア教育の実施に当たって学校現場との連携というのも大事だというふうに考えておりまして、事前質問表のほうにも回答でいただいたんですけれ

ども、夢キタ万博2023の実施に当たって、校長会のほうで各学校園からご意見をいただいて、区役所と学校現場の連携ということでご説明いただいています。今、結構子どもたちの教育に当たっていろいろ課題があるということで、学校現場も何か負担の軽減というのがかなり課題となってきたんですけれども、その点も十分配慮いただきながら、しっかり学校現場と連携してキャリア教育、取り組んでいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。以上です。

○吉川議長

区長、よろしくお願いします。

○前田区長

ありがとうございます。私も民間企業におったものですから、それで例えばこの前の全日空、此花区から入ったんですけれども、そこで見たキャリア教育というのが、やっぱり現実社会と大分かけ離れていたんです。学校の先生、時間がないので近所の商店に来てもらう、PTAのお父さんの会社にたまたま来てもらうぐらいしかできないんですよ。だから私、今北区の中学校に行っている会社って100社あるんですけれども、全部1社ずつお願いして回ったんですよ。こういうテーマで話をしてほしいと。今100社を超えてきたので、多分このラインナップは大阪市内断1位なんです。それはもう企業も一回来るとまた来たいとなるみたいです。それは、前に座っている子どもたちが真剣に聞いてくるから油断できないと、来年はもっと楽しませてやろうというモードに切り替わるんですよ。非常にこれ、子どもたちの満足度93%を超えています。実は、夢キタ万博の満足度も93%を超えました。そのようなレベルなので、ようやく定着をしたかなというふうに考えています。

また、だんだん手を挙げてくれる企業も増えてきているので、またそういうものを強化しながら、最終的には、区長というのは校長の上司に当たるんです、大阪市の場

合。だから常に会議をしながら連携しながらやっているんで、今学校の先生の負荷が非常に高いので、教師になる子がいなくなるという状況を変えざるを得ないのです。夢キタ万博が最終的にうまくいけば、キャリア教育を全部そこに集約すると、中学校でキャリア教育しなくてよくて、あそこへ行けばキャリア教育できるんだというところまで、お互いの責任問題において組み立てていきましょうということで、あの万博が成り立っている。だから、今年よりも来年、来年よりも再来年、もっとこう意見を集約しながら、成長させていきたいと思います。ここは頑張っってやっています。どうぞ期待してお待ちください。

○吉川議長

よろしく願いいたします。島村委員、よろしいでしょうか。

○島村委員

区長のほうからご説明いただきよく分かりました。イベント実施前後において、子どもたちのまず問題意識の形成であったりとか、そのイベントを受けての振り返りなど、そういったところも学校と連携しながら、ぜひやっていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○吉川議長

ありがとうございました。

お待たせしました。高垣委員、どうでしょう。

○高垣委員

高垣でございます。よろしく願いいたします。

民生委員のほうから、9月は一応敬老月間でしたので、寝たきりと一人暮らし、

70歳以上の一人暮らしの調査をいたしました。今、電話での確認は、電話でしたらオレオレ詐欺の警戒でなかなか連絡取れなくて、やはり戸別訪問という形になりました。それで、今年は地域で、皆さんのところもそうだと思うんですけども、4年ぶりに敬老祝賀の会がありまして、暑いさなかでしたけれども、頑張ってくださいブルーシートを日よけにかけて、芝生の校庭だったものですから、それでサムライという劇団がありまして、たくさん皆さん、本当に喜んで来てくださって、こんなにたくさんの方が地域にいるんだという感じで見て、喜んで皆さんも頑張ってくださいんですけども、喜んで帰っていただいて、とてもみんなの元気な顔と、やっぱり年いっても元気やという顔が見えてすごくうれしかったんですけども、そういう行事に出る方は本当に心配ないんですよ、歩いたり、元気ですしね。できたらさっき、木下委員のお話でもあるんですけども、百歳体操に来てくれてもっと脳活性化してもらって、もっと元気になってもらったらとてもうれしいなと思ったんですけども、まあボチボチと宣伝していっているところなんです。

再確認したいんですけども、年末に民生委員に生活保護の方の情報がいつも伝えられるんですけども、そこには割と70歳以上の一人暮らしの方がいます。多分、民生委員には知らせていますよと同意をもらっていると思うんですけども、そういう訪問しようかなと思って実際行っている方もいるんですけども、新しい民生委員さんにそういう、行って何でこんなん知ってんねんという感じで罵倒されて帰ってきたら大変やなと思ったりしますので、再確認なんですけれども、そういうところを訪問しても大丈夫だと聞いていますけれども、どうでしょうか、大丈夫なんでしょうか。お願いいたします。

○吉川議長

ありがとうございます。

福祉課中野課長、お願いいたします。

○中野福祉課長

福祉課長、中野です。平素から民生委員また児童委員の皆様には、地域での見守り、その他相談等で、もう本当にご尽力を賜りまして、改めてお礼を申し上げたいと思います。おっしゃっていただいている見守りの名簿ですけれども、仕組みはもうご存知のように、一定、ご高齢の方でお一人暮らしの方であるとか障がいをお持ちの方とか、介護を受けられている方という一定の要件を満たされた方が原簿という形で、これも社会福祉協議会のほうに委託を受けて、その名簿に基づいて、まずは社会福祉協議会のほうから各名簿対象者のところへ回っていただく、あるいはちょっとその文書でもって、調査をかけた上で訪問させていただいてもいいですかという同意を取った方を改めて見守り名簿という形で、地域の民生委員さんであるとか地域防災の関係の方とかにお配りをさせていただいて、日々の見守りをお願いしているということです。ですので、民生委員さん、児童委員さんのお手元に渡るときには、一応、その名簿に載っている方というのは事前に民生委員さんなり地域の方に、あなたの情報はお渡ししてもいいですかと、ご訪問させていただいてもいいですかという同意の下で名簿には掲載をさせていただいているので、前段としては、お話は入っていると思うんですけれども、おっしゃるとおり、日々の活動する中でいろんな状況があるかと思います。

我々もそういったことで、社会福祉協議会のいろんな地域を回っていただく方とかも含めて、あるいはご高齢の方であれば、地域の包括支援センターとかいろんな見守りの目がございますので、こういう仕組みやという仕組みの周知とか、そういったことにも力を入れていきたいと思います。

ただ、そういったことでもし地域の活動をされている中で、民生委員の皆様がそういったことがあったよとか、ちょっと不自由なところがあったというようなことがあれば、誠にそれは申し訳ないですけれども、我々のところにもご一報いただいて、我々区のほうから善処なり対処なりという形で、ちょっと両方からお願いをさせてい

ただきたいと思いますので、もしそういったことで、中にはご苦勞をかけているような委員の方も日々いらっしゃると思いますけれども、そういったことで区のほうにご一報いただいて、引き続きのご協力をよろしくお願いしたいと思います。どうもありがとうございます。

○吉川議長

お願いいたします。

○高垣委員

すみません、先ほどの質問は、生活保護世帯の方の情報についてちょっとお聞きしたいなと思ったんです。それは伺ってもいいのかなと思って。民生委員の人に同意書を取っているというのを生活保護の方には言ってらっしゃるのかなと思ってお聞きをしたかったんです。

○吉川議長

時間的な関係もありますので、改めてご説明させていただきます。

それでは、次のテーマにまいりたいと思います。時間がちょっと迫っていますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

その他の施策について、渡島委員、お願いいたします。

○渡島委員

こんにちは、よろしくお願いします。

北区女性団体協議会の副会長をさせていただいております渡島です。よろしくお願いいたします。

先日、11月10日、文化祭を行いました。区長様をはじめ地域の連合長の皆様方に

ご出席いただいて、無事に終わらせていただきました。もう280名ぐらいの出席者でございました。去年ぐらいから復活しまして文化祭を行うことができました。本当に一人一人、もう本当に年もだんだん、この3年間のコロナ禍において復活したわけですが、皆さんとても元気よく発表できたことをうれしく思っております。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

それから、今、私は保育園に携わっております。本当に近年猛暑が続いて、練習もままならない日が続いております。その中で、私たちは、私の当園は10月28日、もう本当に最終の土曜日に運動会を行いました。でも、ちょっとお尋ねしたいのは、各小学校は今まで9月の終わりか10月の初めだったんですよね、運動会を実施されるのが。それが今ではもう本当に何かバラバラになってきているんですね。それはやはり猛暑のこととか、そういうこともあるんでしょうけれども。もう今年は、ちょっとびっくりしたのが、驚いたことが、私ところは28日、お天気であれば28日実施、でも雨であれば29日の日曜日にするとしたんですよね。そしたら、豊崎東小学校の先生が保護者に対して、今まで日にちを変えまして10月29日に運動会をするとおっしゃったんです。それで10月29日にされたんですけれども、私のところは10月28日、雨であれば10月29日になったんですよね。そうすると、保護者がやっぱり園に来ている子と、小学校に行っているお兄ちゃんお姉ちゃんたちがいますよね。重なるんですよね。今回は、辛うじて行けたんです。お天気、両方天気だったからね。でも、そういうことが今はもう本当にバラバラになってきているんですね、小学校のほうも。これをちょっと何とかしていただけないかなと思うような次第です。やはりきょうだいがおられるとあっちに1人行き、こっち1人行きというような感じになると思うので、そのところがすごく驚いたことですね。

○吉川議長

今の件に関しては、区長、よろしくお願いいたします。

○前田区長

バラバラです。バラバラですという言い方はちょっと失礼なんですけれども、学校が非常に悪戦苦闘しながら今動いているという、実は今年、二口委員ところ、豊崎本庄小学校の10月の敬老会というのは暑くて暑くてという、この猛暑日の影響が非常にきいています、もう10月ですら運動会どうかなという学校が出てきている。5月ぐらいに前倒しという傾向が来年度また出てくると思いますね。これは気候の問題、この地球温暖化の問題に応じて学校が紆余曲折で今、変動期にあるということがご迷惑をかけている一端だと思うので、もうしばらくお待ちいただき、学校と近隣の園の関係になるんでしょうけれども、当然学校施設を使っている園もいらっしゃるし、それは様子を見ながら、やっぱり子どもの安全性ということを今優先に日を考えていくというプロセスに入っておりますので、もうしばらくお時間をいただきながら、調整させていけませんでしょうか。ありがとうございます。

○吉川議長

渡島委員、よろしいでしょうか。改良していただいたら、皆さん安心して行けます。どうぞよろしくお願いいたします。

一応、皆さん、希望されましたテーマごとにご発言をいただきましたが、特に決めておられない奥委員、時間の関係で回答できないかもしれませんが、お答えはまた返していただきますので、何かお気づきの点、ありましたら、よろしくお願いいたします。

○奥委員

先ほど駐輪対策で撤去するのに6,000万円ぐらい赤字でしたっけね。年間6,000万円ぐらい赤字ということで撤去すれば撤去するほど、多分赤字というようなことだと

思うんですけれども、そこに対して、例えば駐輪場の整備を多分今いっぱいして、1,000台からもう相当2,000台ぐらいあるというふうなことなんですけれども、その料金とお話があったと思うんですけれども、通勤通学、その他もろもろというようなところは、考えなければいけないところはあると思います。例えば、天六の交差点のところ、今、道を改修しようとしてなかなかできていないというような実情があると思うんですけれども、あそこに今、駐輪場がごそっと、北の東、西、東側かな、ごそっとありますけれども、あそこを多分行政的に行くと、駐輪場というのを平場じゃなくて、タワーにできないのかなと。タワーにして、あれは多分富山県かどこかは地下に掘って、何秒かぐらいで入るような感じにして、入り口はもうほんまに小さいものなんですけれども、都会であるとそれは多分無理というふうなことになるので、できればあれをタワーにして、透明みたいな感じにしてしまって、最終的にはそこイルミネーションすれば、晩はきれいだろうと。入れるのも、そこに自転車を入れるのであれば盗難に遭うこともなければ、風雨にさらされることもない。そのときの金額というのは当然ながら高くはなるだろうと。でも定期、それから通勤定期とか通学定期というのがあると思いますので、例えば通学の子は私鉄とか国鉄も一緒でしょうけれども、国鉄と言いませんね、J Rね、とかも一緒だと思うんですけれども、通学と通勤定期並みの差額というようなことを設けてつくっていくというのも一つの方法ではないかというふうなことを思って、梅田の周辺にあってもね。というのは、赤字が6,000万円ほどあるのであれば、ちょっとずつでも建てていただけたらいいかなと、面白いかなと思うんですけれども。またよろしくお願いします。

○吉川議長

ありがとうございます。回答のほうはちょっと時間の関係で割愛させてもらって、またしっかりお答えいただきたいと思います。

お待たせしました。勝委員、よろしくお願いします。

○勝委員

勝です。よろしくお願いします。運営方針のちょっと8番なのか11番なのか、ちょっと決めかねる話題ではあるんですけども、一応高齢者福祉の件で、今って百歳体操があったりとかはつらつがあったりとか、いろいろ対策をされていると思うんですけども、これに行っていた方がいいかなと思っているんですけども、中途半端な年齢の層がまだ自分はそんな年じゃないみたいな感じで、そこには行きたがらない、こんなあるよと言っても行きたがらなかったりとか、何かその年になっているんだけど、違うとか言い張ったりとかして、なかなか行ってくれなくて、でもコミュニケーションが地域の人と取りたいけれども取れないという方が複数いらっしゃるのが現状だと思います。なので、さっきちょっと区長が、私もずっと代替案、何かないかなと思っていたんですけども、区長がさっき関テレの昔のビデオを見ながら話をするみたいなのが、それやったら年齢問わず、今の高齢者の方もそうですし、そのちょっと手前の年代の方もそうですし、何かそうやって集まって、コミュニティとして新しく築いていけたらいいかなと思っています。

あと百歳体操が悪いと言っているわけでは全くないんですけども、ネーミングがもうちょっと何か百歳じゃないしとか、こう言う方もいらっしゃるんじゃないかなというところでちょっとええ感じの名前がもし、その事業でもいいですし、別の事業でもいいので、何かあればいいかなと思いました。

以上です。

○吉川議長

ありがとうございます。これもお答えのほうはまた改めましてお答えさせていただきたいと思います。

お待たせしました。最後になりましたが、栗原委員、お願いします。

○栗原委員

全く初めてなものですから、思い浮かばなくて、特にないというお返事をさせていただきましたけれども、一つだけ、区長にちょっとお伺いしたいんですけれども、私、梅田の辺り、阪神とかあちらは、滝川地域から行けば、自転車の買物が全く普通だと思っていたんですね。それで梅田の第4ビル辺り、すごく自転車の駐輪場を増やしていただいて、もうこの頃は本当いつ行ってもとめられるようになって、とても喜んでいるんですが、先ほど区長が通勤通学の人と言われたので、私の認識が間違っていて、私は買物に行くのにすごく便利だと思って喜んでいたんですが、やはりあれは通勤通学の方に優先的にしたほうがいいんでしょうか。ちょっとお伺いしたいんです。

○吉川議長

これも含めまして、また、別途ご回答よろしくお願いします。

3名の方のご意見については、別途ご回答よろしくお願いします。ありがとうございます。

○栗原委員

よかったです、今日は。

○吉川議長

ありがとうございます。

それでは、大変お待たせをいたしました。

公務ご多用の中、ご出席をいただいております議員の先生方よりご挨拶をお願いいたします。

○近藤議員

皆さん、お疲れさまでございます。近藤でございます。ありがとうございました。本当に皆様が日々、地域のほうでご活動をいろいろとしていただいて本当にありがとうございます。そしてまた区役所の皆様も本当にありがとうございます。本当にそれぞれのお立場で感じられたことを皆さんで共有して、また区役所もそれに対して考えていくという、本当にもう我々が議員としてやっている仕事もこんな感じだと思います。だからこそ、私自身は議員としてできることはないかなということを考えながら聞かせていただきました。また皆様と協力して、よりよいまちをつくっていきたいと思いますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。

○山本議員

続けて、山本でございます。いつもありがとうございます。北区のために、皆さんのこの北区が良くなるために何かすごいエネルギーを感じる、素晴らしい第1回目ですね、新しいメンバーで、どうも感動しております。ありがとうございます。

一言というか思ったことだけちょっと言いますね。まず、防災の備蓄品に関連して、体育館とかに置いてあると思うんですけども、ある方が体育館の備蓄品を見に行ったらすごい体育館が汚れていると、埃がたまっていて。学校の先生たちが掃除する間もなく、そこまで、生徒は生徒の作業、掃除の場があるので大変ということで、もしよければこの備蓄品をチェックしたり整理するときに、みんなでちょっと体育館も掃除というか、できる範囲でいいと思うんですけども、そんなこともできたら学校も喜んでくださるんじゃないかなというふうに思いました。

もう一点、防災時なんですけれども、各大きな災害のときはボランティアセンターができて、そういうボランティアの方々の保険が適用されているんですけども、小さな地域の小学校等で災害時にそういう防災リーダーが中心になってやられる場合、そこにボランティアとしてお手伝いしたいという方が万が一けがとかしたときの保険

がないので、これなかなか難しいということで、これまでも何回かいろいろやっているんですけども、何かせっかくお手伝いしたのに、そこでけがをしてというときの補償はどうなるのかなということで、これから私自身も取り組みたいなと思っている課題です。

もう一点、最後、これから年末夜警が始まってくると思うんですけども、あれだけ皆さん一生懸命されて、地域の方も来られているし、また小さいお子さんも一緒に参加されたりして、すごい内容いいんですけども、もっと充実できたらいいんじゃないかなと思っておりますので、各地域、すごい工夫されているんですけども、プラス何かがあれば、この年末夜警、いいかなと思っておりますので、バラバラの意見で申し訳ありませんけれども、またこれからもよろしくお願いいたします。ご苦労さまでございました。

○吉川議長

先生方、ありがとうございました。

それでは、最後に吉沢副議長、お願いいたします。

○吉沢副議長

本日は長時間にわたり、ご貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。

これから新しい2年間が始まるということでございますが、私、今日はいろんな勉強をさせていただきました。これから、この2年間ですけれども、区行政にとりましても、また我々委員にとりましても、意味のある2年間にしたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

簡単でございますが、ありがとうございます。

○吉川議長

ありがとうございました。

委員の皆様には、本日は多くのご意見を賜り、ありがとうございました。また円滑な議事進行にご協力をいただきまして、ありがとうございます。

本日、皆様方よりいただいたご意見は、区役所で十分ご検討いただき、今後の区政に反映していただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

また途中で終わりました奥委員、勝委員、栗原委員には、また区役所のほうからはっきりとした返答をいただいて、回答したいと思いますので、どうぞしばらくお待ちください。

最後に区役所のほうからよろしくお願いします。

○前田区長

本日はどうもありがとうございました。2時間、いろんな忌憚のないご意見をいただきまして本当にありがとうございます。皆さんと我々の思いは、目標は一緒なんです。このまち、ええまちにしたいなということだけなんです。だから我々も同じステップで、そこへ目指して歩んでいきたいと思っています。

この間、豊崎東に行って、もう本当に学生さんの力を借りないとイベントできないということが出たので、いわゆる地活予算に学生ボランティアの費用を盛り込んで今運営をさせていただいている。その学生ボランティアは保険ききますので、そういうのも改善しながら、来年度予算もその分は地活予算を上積みということで協議しながら、大阪市の全体ルールの中で縛られることも多々あるんですけども、やっぱり皆さんと共に歩んでいかないと、区役所の意味はないと思っていますので、できる範囲の中で、できるステップの中で、改善に向けて進んでまいりたいと思います。

今日は皆さん、本当にいろんな地域でいろんな活動を原動力として回していただいている方ばかりがこの区政会議に集まっていたいて、本当に感謝をいたしますし、

頼りにしております。今日じゃなくても、これから餅つき大会でも、区役所で見つければ、あんなこんなといろんなリクエスト出していただければ、それは、この区が一步前進することになると思いますので、そこら辺は遠慮なくご意見を賜ればと思っています。

今日は本当に長時間になりましたけれども、いろんなご意見賜りましたこととお礼申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○吉川議長

ありがとうございました。

これをもちまして、第43回区政会議を終了させていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

6 配布資料

別添のとおり